

全国中小企業団体中央会  
会長 大村 功 作 殿  
埼玉県地域事務局  
埼玉県中小企業団体中央会  
会長 伊藤 光 男 殿

郵便番号 330-0000  
本社所在地 埼玉県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号  
事業者名 株式会社●●●●●  
代表者の役職及び氏名 代表取締役 〇〇〇〇 

平成28年度補正革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金に係る  
補助事業遂行状況報告書

交付決定通知書右上の日付及び6桁の文書番号を記載

平成29年●●月●●日付け29埼中もの発第●●●●●●●●号をもって交付決定された上記の補助事業の遂行状況について、革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金交付規程第12条の規定に基づき下記のとおり報告します。

記

30文字程度のテーマ名

1. 事業計画名 **建設機械用機械系部品における鋳造一体成形品の試作開発**

※ 補助金交付申請書と同じ事業計画名を記載してください。

2. 補助事業の実施状況

(注1) 具体的に記述してください。

(注2) 当初のスケジュールに対して遅延しているか否かについて記述してください。遅延している場合は、その理由を記述してください。

(1) 補助事業の実施状況

① 補助事業の概要

本補助事業では、既存製品の建設産業機械向け機械系部品における構成部品数の削減を図ること及び新分野等への進出を図ることを目的として、鋳造の一体成形技術を高度化させる試作開発及び設備投資を実施する。

補助事業の概要を記述（計画変更申請を行った場合は、その内容も反映させる）。3～4行程度

② 補助事業の実施状況

現在までに目的を達成するための条件を備え、取組材料の選定、各種加工条件のシミュレーション、形状設計を行って、鋳造の5点からなる部品を4点に削減する一体成形加工の試作品が完成した。

これまでの取組状況を記述（計画変更申請を行った場合は、その内容も反映させる）。3～4行程度

③ 今後の取り組み状況

今後は試作品の各種性能評価試験を行い、必要に応じて改良を加えていく。また、生産性向上分析による効果検証を行って、試作品を既存取引メーカー、取引のない複数メーカーに無償で貸与し、評価に関する情報を収集し、検討を重ね実用化を目指す。

今後の取組内容を記述  
5～6行程度

実施スケジュールについては、当初の計画より1ヶ月以上遅れている。

スケジュールに遅延等がある場合には、遅延理由等を記述。

理由として、〇〇部分の形状仕様変更が多々発生し、開発品の仕様の決定が遅れたため、設計の完了も遅れた。動作テスト後、〇〇部分に変更になる可能性があり、その場合〇〇の形状が変更になる事が予想されるため、開発に遅れが生じている。

今後の対策としては、〇〇部分のテスト結果を設計へフィードバックし、試作品の開発に活かす。

交付申請書「5.事業の具体的な内容 その1」に記載した内容のうち、**現在までに取り組んだ内容**を記述（計画変更申請を行った場合は、その内容も反映させる）。

## (2) 補助事業の進捗状況

### ①現在までに取り組んだ内容

- ・現状解析及び最適素材の選定（〇〇月〇〇日～〇〇月〇〇日）
- ・形状・接合・加工条件シミュレーション（〇〇月〇〇日～〇〇月〇〇日）
- ・試作・設計へのフィードバック（〇〇月中旬）
- ・各種検討結果から、最適な一体成形及び成形加工の実施（〇月中旬～〇月上旬）

### ②今後取り組む内容

- ・簡易試験の実施（〇月下旬）
- ・生産性向上分析、安全性分析（〇月下旬）
- ・補助事業の検証・評価（〇月中旬～〇月上旬）

交付申請書「5.事業の具体的な内容 その1」に記載した内容のうち、**今後取り組む内容**を記述（計画変更申請を行った場合は、その内容も反映させる）。

## 3. 経費の支出状況

別紙のとおり

(注) 本様式は、日本工業規格A4判としてください。

様式第5の別紙

交付決定額の内訳を記入

●/●時点で、支払いが完了している内容について経費明細表に記載。

<経費明細表>

(事業者名：株式会社●●●●)

円未満切り捨て

(単位：円)

経費区分 (※は小規模型「試作 開発等」のみ使用可)	補助金 交付決定額	A		補助対象 経費 (税抜き)	B×2/3 以下 補助金の (税抜き)	積算基礎 (A(税込み)の内訳)
		補助事業に要した経費 (税込み)	(税抜き)			
機械装置費 (単価 50 万円以上)	2,166,666	2,700,000	2,500,000	2,500,000	1,666,666	〇〇自動機 〇〇-A001 1 台 2,700,000 円 (税込 み)
技術導入費	634,920	449,820	416,500	416,500	277,666	成形加工技術指導 17 日 (〇〇〇〇氏) 449,820 円
専門家経費	666,666	541,620	501,500	501,500	334,333	謝金：〇〇に関する指導 10 日 (〇〇〇〇氏) 〇〇円 旅費：指導に関する移動 (大宮⇄〇〇) 〇〇円
原材料費 (※)	800,000	756,000	700,000	700,000	466,666	材料 A 162,000 円 (@3,240 円×50kg) 材料 B 162,000 円 (@1,620 円×100kg) 材料 C 432,000 円 (@2,160 円×200kg)
外注加工費 (※)	466,666	756,000	700,000	700,000	466,666	〇〇評価試験 〇回 (〇〇試験センター) 756,000 円
知的財産権等関連経費 (※)	500,000	540,000	500,000	500,000	333,333	〇〇技術の申請一式 (〇〇特許事務所) 540,000 円
合 計	5,234,918	5,743,440	5,318,000	5,318,000	3,545,330	

(注1) 未使用費目は削除して、行を詰めてください。

(注2) 「積算基礎」は、「A. 補助事業に要する経費 (税込み)」について導入設備の単価や数量など経費の内訳を明確に記載してください。